

# 引用・参考文献の作成要領

## 論文作成要領

- ①参照は文中表示方式とする：（著者名、出版年度：項目数）
- ②原則として、本文中における数字、ローマ字は半角、括弧などの記号は全角とする。
- ③原則として、作品名・論文名・直接引用文は「 」を、書名・誌（紙）名は『 』を用いる。
- ④外国の固有名詞は、文中初出の場合、必要に応じてフルネームをカタカナで表記し、その後に（ ）で原綴りを付記する。
- ⑤作品名、書名などの原語表示は、カギ括弧「」、『 』内に（ ）で付記する。
- ⑥参考文献リストにおける海外（非漢字語圏）の作品名、書名などはイタリック体で表示する。
- ⑦参考文献リストは、日本語文献を50音順に、ローマ字文献をアルファベット順に列挙する。

## 本文中の参照の仕方

1. 著者名が本文中にある場合、括弧入りで年度（数字のみ）を表示すること。  
山田太郎（2010）は……と主張した。
2. 著者名が本文中にない場合は、姓名（非漢字語圏の海外文献の場合は、姓のみ）、読点、年度の順で表示すること。  
『書名』（山田太郎、2010）では……と記されている。  
『書名』（Smith、1980）では……と記されている。
3. 必要に応じて年度の次にコロンを挟んで項目数を表示すること。  
……と指摘されている（山田太郎、2010：57-59）。
4. 著者が3名以上の場合、1名を表示した上で、その次に「ほか」（非漢字語圏の海外文献の場合は、et al.）と表示できる。  
……と述べられた（山田太郎ほか、2002）。  
……と述べられた（Smith et al. 1984）。
5. 同一の著者による複数の同年度の文献の場合、本文中および参考文献リストの両方に「a」、「b」の順で表示をつけること。  
……と記されている（山田太郎、2005a）。山田（2005b）は……とも主張する。
6. 複数の文献は、セミコロンを使い連続で表示すること。  
……と指摘されてきた（山田太郎、2010；田中花子、1987）
7. 同一の著者による複数の文献の場合は、年度のみ連続で表示すること。  
彼はいくつかの著作（山田太郎、1995、2003、2010）で……と述べている。
8. 参照文献に関する簡単な注意は本文中に括弧入りで表示すること。  
このような研究者たちは……と主張する（但し、山田太郎、2010：57-59を参照すること）。
9. 組織・団体による著作の場合、参考文献リストに表示された組織・団体名の最初の部分を提示すること。  
最近のデータ（〇〇庁、2004：7-8）は……を示している。
10. 著者が特定されていない論文、研究の場合、それらの題名ではなく、雑誌、ジャーナル、新聞、スポンサー機関などの名前を使うこと。

……と述べられている（〇〇新聞、2013）。

- 1 1. 個人的なコミュニケーションからの引用は、括弧入りで本文中に表示すること。  
……と推測されてきた（山田太郎、2013、個人的なコミュニケーション）

## 参考文献リストの作成方法

### 1. 著書

日本：山田太郎（2010）『書名』出版社。  
海外（非漢字語圏）： Smith, Jane (1980) 書名. 出版地: 出版社.  
和訳：スミス、ジェーン（1984）『和訳書名』田中花子訳、出版社。

### 2. 編著およびジャーナルに掲載された論文：掲載項目の範囲を示すこと

日本：山田太郎（2010）「論文名」、田中次郎編『書名』出版社、〇〇 - 〇〇  
海外（非漢字語圏）： Smith, Jane (1980) 論文名. In: John Young (ed.) 書名. 出版地: 出版社, 〇〇 - 〇〇.  
和訳：スミス、ジェーン（1984）「和訳論文名」田中花子訳、鈴木次郎編『書名』出版社、〇〇 - 〇〇。

日本：氏名（出版年度）「論文／記事名」、『ジャーナル名』第〇巻第〇号、〇〇 - 〇〇。  
海外（非漢字語圏）： 氏, 名（出版年度）論文／記事名. ジャーナル名 Vol. 〇〇, No. 〇〇, 〇〇 - 〇〇.  
和訳：氏、名（出版年度）「和訳論文／記事名」訳者の氏名、『ジャーナル名』第〇巻第〇号、〇〇 - 〇〇。

### 3. 学術大会論文：発表が行われた大会名、開催地、開催時期を示すこと

日本：山田太郎（2013）「論文名」〇〇学会大会における発表論文、東京、6月16日。  
海外（非漢字語圏）： Smith, Jane (2013) 論文名. In: 〇〇conference, Chicago, US, 5-11, March, 2013.

### 4. 学位論文

日本：山田太郎（1989）「学位論文名」博士論文、〇〇大学。  
海外（非漢字語圏）： Smith, Jane (1977) 学位論文名. PhD Thesis, 〇〇University, UK.

### 5. オンライン・ジャーナル／ウェブサイト

日本：山田太郎（2001）「論文／記事名」、『ジャーナル／ウェブサイト名』第〇巻第〇号、www.〇〇.〇〇（2012年5月確認）。  
海外（非漢字語圏）： Smith, Jane (1999) 論文／記事名. ジャーナル／ウェブサイト名 Vol. 〇〇, No. 〇〇, Available at: www. 〇〇.〇〇〇〇 (accessed 11, July, 2005).

### 6. 報告書

日本：〇〇学会（2004）「報告書名」報告書番号〇〇、7月24日、〇〇庁。  
海外（非漢字語圏）： Society of 〇〇(2006) 報告書名. Report No. 〇〇, 13, September, Oxford: OUP.

### 7. DVD など視聴覚メディアの収録内容

日本：山田太郎（2001）「チャプター名」、『メディアのタイトル名』[メディアのタイプ]、発売社。  
海外（非漢字語圏）： Smith, Jane (2001) チャプター名, In: メディアのタイトル名 [メディアのタイプ], 発売地: 発売社.